京葉少年野球連盟
春季大会兼
第37回くりくり少年野球
選手権大会千葉地区予選

Aゾーン 磯辺シャークス優勝

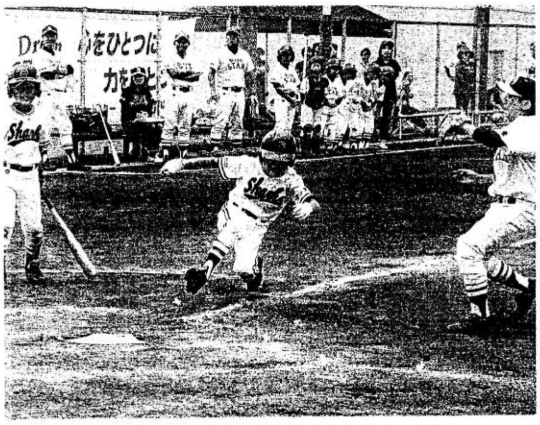
3年ぶり5回目

新浦安ドリームSに快勝

京葉少年野球連盟第39回春季大会兼第37回くりくり少年野球選手権大会千葉地区予選Aゾーン決勝は6月21日、中央区川崎町のフクダ電子グラウンドで行われ、美浜区の磯辺シャークスが浦安市の新浦安ドリームスターを破り、3年ぶり5回目の優勝を9－2の快勝で飾った。Bゾーンの決勝は7月4日、美浜区の卸市場球場で行われ、打瀬ベパスターズが武石ブルーサダーの追撃を1点差でかわして優勝した。

同大会は千葉市を中心に近隣市からAゾーンに50チーム、Bゾーンに36チームが参加しトーナメントで熱戦を繰り広げた。

くりくり少年野球大会は7月27日から30日まで埼玉県所沢市の西武ドームで開催された。なお、Bゾーンの準決勝、決勝の展開は8面に掲載。



Aゾーン決勝、シャークスは4回5点を加えて試合を決めた

【Aゾーン】

◇準々決勝

磯辺シャークス	1－1 サドン5－0	大森フライヤーズ
幸町リトルインディアンズ	7－6	高洲コンドルス
大和田タイガース	6－5	愛生グレート
新浦安ドリームスター	10－1	真砂シーホークス

◇準決勝

幸町リトルインディアンズ	200000	2
磯辺シャークス	40301X	8

▽バッテリー＝大森将太朗、中嶌遼太郎－上田凌大（幸）安田鴻希、二出川翼－越智晴紀（磯）

▽2塁打＝鈴木太陽（磯）

シャークスが投打でリトルインディアンズを圧倒した。シャークスの先発安田投手は6イニング4分の3を投げ76球、打者22人、許したヒット2本、3四死球、2失点。6回2死走者1塁で登板した二出川投手も後続を投前ゴロ、2球で決着をつけた。

リトルインディアンズは1回、1番上田が2－1から死球で出塁、2番岸洋介がレフトへの先制ヒット。このヒットがエラーも誘い岸は3塁まで進み、3番大森の2塁ゴロで追加点。ツキにも恵まれたいい立ちあがりだったが、以後はシャークスがつけ入るスキを与えず、ヒットは4回5番三山大輔の1本に終わった。

シャークスは先制を許した1回裏、1番渡辺龍のレフト前ヒットを皮切りに打者一巡の猛反撃。4番鈴木が同点右中間2塁打。さらに5番越智晴紀、7番中澤悠太の四球で2死満塁となり、センターへ伸びた8番曽良岡啓太の打球で2点を加え逆転した。

シャークスは3回もヒットの6番安田がワイルドピッチで生還。四球、盗塁の9番中西聖人も1番渡辺のセンター前タイムリーでホームイン。渡辺はあざやかに盗塁2つを決め、2番二出川の1塁ゴロでかえり、5回に四球の8番曽良岡がノーヒットで8点目のホームイン。

大和田タイガース	011120	5
新浦安ドリームスター	20520X	9

▽バッテリー＝草野知大、佐藤輝世、大場友晄－佐藤輝世、草野知大（大）、西村風汰、内田仁人－島筒健太（新）

▽本塁打＝古賀智己（新）

▽3塁打＝新井稟太朗（大）

▽2塁打＝杉山太一（大）島筒健太（新）

両チームもち味を生かし好ゲームを展開したが3回の攻防が勝負の明暗を分けた。先手を取ったのはドリームスター。1回裏、1番島筒が1－1からレフトへ2塁打。2番内田がバントで進め、3番浅田英太は四球をえらび、盗塁も決め1死2、3塁とし、4番古賀の打球がエラーを誘い2点を先取。タイガースは1回表、2番大井暁陽、3番草野が連続ヒット、4番佐藤が四球をえらび1死満塁。このチャンスを生かせなかったのがあとあと悔まれた。しかし、2回先頭7番新井が2球目をライトへ豪快な3塁打。相手エラーに助けられて生還。3[illegible]が2塁まで進み5番石黒正義の外野への打球がエラーを呼び、佐藤が同点のホームイン。これで試合は面白くなるとおもわれたのだが、ドリームスターは3回裏打順2巡目となり、1番島筒がライトへ3塁打。2番内田は遊ゴロ、盗塁。1死2、3塁で4番古賀が2－2からセンターへ3ランホームラン。なおもヒットの5番西村、死球の6番堀部粛平も生還してこの回一挙5点。4回にも3番浅田英[illegible]ットで2点を加えた。タイガースも4、5回果敢に反撃し、追加点をあげたが5回の失点が大きすぎた。

◇決　勝

磯辺シャークス	01251	9
新浦安ドリームスター	01100	2

▽バッテリー＝安田鴻希－越智晴紀（磯）、西村風汰－島筒健太（新）

▽3塁打＝鈴木太陽（磯）

▽2塁打＝渡辺龍、中西聖人（磯）

八千代市の強豪大和田タイガースに快勝し、決勝へ進出したドリームスターだったが、シャークスのエース安田投手の前に2安打に封じられた。対するシャークスは決勝の大舞台にもかかわらず緊張の素振りも見せなかった。立ち上がりこそ"互角"だったが、噛み合った投打でドリームスターを圧倒した。

Aゾーン優勝の磯辺シャークス

1回表、得点こそ成らなかったがシャークスは1番渡辺が右中間2塁打、2番二出川翼がバントヒット、2打線に勢いを感じさせた。2回はヒットの5番越智を3塁に7番増田幹汰のセンター前タイムリーで先取点。なおも走者1、2塁で9番中西が2塁打を放ったが、ここはドリーム[illegible]た。

その裏、ドリームスターは先頭4番古賀智己が四球をえらび、盗塁に成功。5番西村がバントで送ると4番堀部粛平のライトへのタイムリーヒットで同点に。しかし、シャークスはそれを意に介せずというかのように3回表、死球の2番二出川、バントヒットの3番大川広夢が4番鈴木太陽のバントで2、3塁とし、ダブルスチールで果敢な追加点をあげ、5番越智のタイムリーヒットで3点目。

これに対しドリームスターは3回裏、四球の9番陶山颯悟が1番島筒健太のヒット、2番内田仁人のバントで3塁を踏み、4番古賀の犠牲フライで追加点をあげて食い下がったがここで息切れ、追撃のチャンスを作れなかった。

試合運びに余裕を見せるシャークスは4回表、四球の8番曽良岡啓太がワイルドピッチで生還し、さらに1死満塁で主砲4番鈴木が11球目を左中間へ走者一掃の3塁打を放ち、鈴木も5番越智の遊ゴロでホームイン。この回一気に5点を加え、5回には四球の7番増田が1番渡辺のバントヒットでダメ押しの追加点をあげた。